

流山市市長 井崎義治様

流山市民の皆様へ

この度は、3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震において、東日本各地に甚大は被害が生じ、私の実家である福島県相馬市もその渦中となりました。

私は遠征先の広島でその一方を聞き、その規模の大きさに実家の心配をするばかりで何も出来ないもどかしさ、無力さに情けなさで無念でなりませんでした。

日に日に事の重大さ、被災しお亡くなりなられた方々、行方不明の方々、住まいを奪われ避難されている方々の報道がなされる中、心の中では、早く駆けつけたいという気持ちでおりましたが、許されるべき状況ではありませんでした。

葛藤の日々が続き、ようやく3月26日に相馬市に行くことができました。

実家の家族と無事に会え、友人とも再会できましたが、私には想像もできない程の状況であった事を知り、また実際に被害地を見て言葉を失いました。

相馬市役所、避難場所となっている小学校や中学校などに伺い、懸命に復旧活動をされている方々、耐え難い状況で避難されている方々を目の前にし、張り裂ける思いでいっぱいでした。

その様な中でも、たくさんの食糧や生活用品などが届けられている事に気付きました。

お尋ねすると千葉県流山市の方々のご支援をいただいている事や、震災後直ちに相馬市にいらしていただき、大変なご支援いただいた事をお聞きし、この上ない感謝の気持ちでいっぱいになりました。

私の家族や友人も数多くそのご支援を受け、明日への希望となっています。

ここに心よりの感謝を申し上げたいと思い、私の友人より、金井直明様をご紹介いただき、私の感謝の意をお伝えできる機会を頂けました。

改めまして、今回の震災では、流山市においても大変な状況であったにもかかわらず、井崎市長様をはじめ、流山市民の皆様のご理解をいただき、相馬市に厚いご支援くださり、また今日においても継続したご支援を賜り、更に明日への希望をいただき誠に有り難うございました。

心より感謝いたしております。

今後、この感謝を忘れず、流山市民の皆様へ少しでも恩返しができる様に、一心不乱に与えられた使命に全うすることを、ここに誓い、今シーズンのプレーに挑みたいと思います。

平成23年4月4日

東京読売巨人軍

鈴木尚平